

第2回病院連絡会結果の概要（南河内二次医療圏）①

1 第2回病院連絡会の参加状況と病院プラン2019年度更新版の提出状況

保健所名 (開催日)	公立・ 公的・ 民間等	対象 [※] 病院 数 (A)	出席病院		病院プラン提出		病院プラン調査更新版未定出病院 (第2回病院連絡会開催時点)
			数 (B)	参加率 (B)/(A)	病院数 (C)	提出率 (C)/(A)	
藤井寺 (12/4)	公立	2	2	100.0%	2	100.0%	ラポール会青山藤ヶ丘病院
	公的	0	0		0		
	民間等	13	12	92.3%	12	92.3%	
	合計	15	14	93.3%	14	93.3%	
富田林 (12/10)	公立	0	0		0		
	公的	3	3	100.0%	3	100.0%	
	民間等	18	17	94.4%	18	100.0%	
	合計	21	20	95.2%	21	100.0%	
合計	公立	2	2	100.0%	2	100.0%	
	公的	3	3	100.0%	3	100.0%	
	民間等	31	29	93.5%	30	96.8%	
	合計	36	34	94.4%	35	97.2%	

※:病院連絡会の対象は、病床機能報告対象病院

第2回病院連絡会結果の概要（南河内二次医療圏）②

2 今後の医療提供体制のあり方についての確認事項

<p>【病床機能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不足する医療機能（主として回復期）への転換を第一とする <p>【診療機能】</p> <p>①周産期医療分野のあり方（集約化の要否）についての検討 （藤井寺保健所管内の病院連絡会の各病院の総意は、現時点で集約化済み）</p> <p>②小児医療分野のあり方（集約化の要否）についての検討</p> <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各病院の今後の方向性について、他病院から特に意見なし。 ・近畿大学病院については、堺市移転後も南河内における拠点病院としての現状の医療機能を担うことを確認した。
--

3 公立病院・公的病院・2025年に向けて病床機能転換の予定のある民間等病院・病床機能についての報告がない民間等病院の一覧

区分	保健所	市町村	医療機関名	診療機能 【公立・公的病院】救急医療・小児・周産期					今後の方向性 プラン・連絡会にて 具体的な方向性の説明があった場合 <凡例> 機能拡大 機能縮小 機能廃止 他病院との再編	病床機能																	【参考】 過剰となる病床 機能への 転換（再稼 働）に対する 大阪府の基本 的考え				
				圏域占有率※（％）						現状の機能別病床数 (2018年7月1日現在)						転換病床数（2025年に向けた病床機能・病床数等の変更予定の有無）															
				【救急】 救急車 搬送件数	【周産期】 分娩	【周産期】 ハイリスク 分娩加算	【周産期】 NICU等 算定回数	【小児】 小児入院 医療管理 料		合計 病床数	高度 急性期	急性期	回復期	慢性期	非稼働 (休床 中)	合計 病床数	高度 急性期	急性期	回復期	慢性期	休床中	廃止	介護 医療院	介護老 人保健 施設	介護施 設・福 祉施設	第2回病院 連絡会以後 の転換予定 の有無		機能変更 (予定) 時期	具体的な内容		
1 公立	藤井寺保健所	羽曳野市	地方独立行政法人 大阪府立病院機構 大阪はびきの医療センター	2.1%	24.1%	22.8%	30.3%	20.1%	—	360	19	341	0	0	0	▲6	0	▲54	48	0	0	0	0	0	0	0	0	○	2025年 に向けて 変更予定	小児入院医療管理料3(急性期)12床、地域包括ケア病棟入院料(急性期)46床を、急性期一般入院料1(急性期)4床、地域包括ケア病棟入院料2(回復期)48床へ転換予定。	
1 公立	藤井寺保健所	藤井寺市	市立藤井寺市民病院	0.6%	—	—	—	—	—	98	0	98	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—	—	病床機能の転換予定は無し。		
2 公的1	富田林保健所	富田林市	社会福祉法人 恩賜財団 大阪府済生会富田林病院	7.0%	2.9%	—	—	—	—	300	0	250	50	0	0	▲40	0	▲40	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	2021年 秋頃	2016年度に再建計画をスタート。2020年秋ごろ、新病院第1期オープン予定であり、この時に、急性期一般入院料1(急性期)250床のうち40床を減床予定。産科については医師の若返りを図る等機能を充実させる方針である。小児科は登校拒否など多様な問題に対応できるよう医師を調整中。救急医療では積極的な受入れを行い、地域貢献を図っている。済生会の理念により、社会的困窮者への対応を含め、地域密着型の経営を行っていく。	
2 公的1	富田林保健所	河内長野市	独立行政法人 国立病院機構 大阪南医療センター	8.0%	10.9%	4.0%	—	8.1%	救急：機能拡大	430	248	182	0	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	病床機能の変更予定なし。2019年救急科新設し、救急・災害医療の充実を図っている。小児医療は年間約1000件の入院で、うち7割が1泊2日の食物アレルギー検査目的。	
3 公的2	富田林保健所	大阪狭山市	学校法人 近畿大学病院	15.5%	8.5%	7.9%	30.3%	28.8%	—	919	919	0	0	0	▲119	▲119	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	2023年 4月	2023年4月に堺市泉ヶ丘地区へ移転し、800床(▲119)に減床予定。移転後も、救急・災害、周産期、小児、がん等、これまで通り南河内における拠点としての医療を担っていく。移転後は、高度な手術や集中治療が可能な病床を増床予定。また、大学としての教育を強化していく。		
4 民間等	藤井寺保健所	羽曳野市	医療法人春秋会 城山病院							299	8	240	51	0	0	0	7	▲8	1	0	0	0	0	0	0	0	○	2020年 4月以降	急性期一般入院料1(急性期)8床を脳卒中ケアユニット入院医療管理料(高度急性期)3床とハイケアユニット入院医療管理料1(高度急性期)4床と回復期リハビリテーション病棟入院料1(回復期)1床へ転換予定。	過剰な病床への転換は、望ましくない。	
4 民間等	藤井寺保健所	松原市	社会医療法人垣谷会 明治橋病院							396	0	120	0	276	0	▲180	0	0	50	▲230	0	0	0	0	0	0	○	2020年 4月まで	介護療養病床(慢性期)240床を回復期リハビリテーション病棟入院料3(回復期)50床と療養病棟入院料2(慢性期)10床、介護医療院180床へ転換予定。		

区分	保健所	市町村	医療機関名	診療機能 【公立・公的病院】救急医療・小児・周産期					病床機能																			【参考】 過剰となる病床 機能への 転換（再稼 働）に対する 大阪府の基本 的考え				
				圏域占有率※（％）					今後の方向性 プラン・連絡会にて 具体的な方向性の説明があった場合 <凡例> 機能拡大 機能縮小 機能廃止 他病院との再編	現状の機能別病床数 (2018年7月1日現在)						転換病床数（2025年に向けた病床機能・病床数等の変更予定の有無）													【プラン・連絡会での病院の説明】			
				【救急】 救急車 搬送件数	【周産期】 分娩	【周産期】 ハイリスク 分娩加算	【周産期】 NICU等 算定回数	【小児】 小児入院 医療管理 料		合計 病床数	高度 急性期	急性期	回復期	慢性期	非稼働 (休床 中)	合計 病床数	高度 急性期	急性期	回復期	慢性期	休床中	廃止	介護 医療院	介護老 人保健 施設	介護施 設・福 祉施設	第2回病院 連絡会以後 の転換予定 の有無	機能変更 (予定) 時期		具体的な内容			
4 民間等	藤井寺 保健所	羽曳野市	医療法人はあとふる 運動器ケアしまだ病院							88	0	43	45	0	0	0	0	0	45	▲45	0	0	0	0	0	0	0	0	○	未定	地域包括ケア病棟入院料2(回復期)45床を急性期一 般入院料1(急性期)45床へ転換を検討中。	過剰な病床へ の転換は、控 えるべき。
4 民間等	藤井寺 保健所	羽曳野市	医療法人昌円会 高村病院							175	0	55	38	82	0	0	0	0	32	12	▲44	0	0	0	0	0	0	○	未定	障害者施設等10対1入院基本料(慢性期)44床を急 急性期一般入院料2(急性期)32床と地域包括ケア入院 医療管理料1(回復期)12床へ転換予定(H30度保健 医療協議会で協議済)	過剰な病床へ の転換は、望 ましくない。	
4 民間等	富田林 保健所	大阪 狭山市	医療法人 櫻本会 櫻本病院							199	0	101	52	46	0	0	0	0	1	▲1	0	0	0	0	0	0	0	○	2019年 2月	2019年2月に回復期リハビリテーション病棟入院料3(回 復期)1床を急性期一般入院料4(急性期)に変換。 療養病床での感染症対応等が目的で、一般病棟(サブ アキュート機能)に転換したもの。	過剰な病床へ の転換は、控 えるべき。	
4 民間等	藤井寺 保健所	藤井寺市	医療法人ラポール会 青山病院							125	0	50	33	42	0	11	0	0	▲6	59	▲42	0	0	0	0	0	0	○	2021年 度内 予定	ラポール会として青山第二病院と病床再編。2019年11 月青山藤ヶ丘病院を新設。 地域包括ケア入院医療管理料1(急性期)7床、療養病 棟入院料1(慢性期)42床を急性期一般入院料4(急性 期)1床、地域包括ケア病棟入院料1(回復期)42床、回 復期リハビリテーション病棟入院料1(回復期)17床へ転 換予定。		
4 民間等	藤井寺 保健所	藤井寺市	医療法人ラポール会 青山藤ヶ丘病院							60	0	0	0	60	0	0	0	0	0	30	▲30	0	0	0	0	0	0	○	未定	現在の機能別病床数は2019年11月開設時時点。 療養病棟特別入院基本料(慢性期)30床を 地域包括 ケア入院医療管理料1(回復期)30床へ転換予定。		
4 民間等	富田林 保健所	河内 長野市	医療法人 ラポール会 青山第二病院							120	0	36	0	84	0	▲71	0	▲36	20	▲55	0	0	0	0	0	0	0	○	2019年 9月・ 2020年 以降	青山藤が丘病院の開院に伴い、今年9月、療養病棟入 院料1(慢性期)84床を18床減床。 さらに、青山病院の改修工事終了後、急性期一般入院 料4(急性期)26床、地域包括ケア入院医療管理料 1(急性期)10床、療養病棟入院料1(慢性期)37床を、 地域包括ケア病棟入院料1(回復期)に変更予定。		
4 民間等	富田林 保健所	富田林市	一般財団法人 成研会付 属 結のぞみ病院							60	0	0	0	60	0	▲6	0	0	0	▲6	0	0	0	0	0	0	0	0	○	2018年 8月	2018年8月、療養病棟入院料2(慢性期)60床を6床 減床し、療養病棟入院料1(慢性期)54床に変更。 今年7月、精神療養病棟56床を認知症治療病棟へ機 能変更。	
4 民間等	富田林 保健所	河内 長野市	医療法人 敬任会 岡記念病院							99	0	59	40	0	0	0	0	▲28	28	0	0	0	0	0	0	0	0	○	2020年 11月頃	地域一般入院基本料1(急性期)28床を 地域包括ケア入院医療管理料1(回復期)へ転換予定。		
4 民間等	富田林 保健所	河内 長野市	医療法人 孝仁会 澤田病院							64	0	0	60	0	4	▲4	0	0	0	0	0	▲4	4	0	0	0	0	○	未定	1病棟60床上限により4床休床中。今後、1病棟で運営 するなら4床返還予定。		
4 民間等	富田林 保健所	大阪 狭山市	医療法人 正雅会 辻本病院							99	0	25	20	54	0	0	0	▲5	10	▲5	0	0	0	0	0	0	○	2022年 頃	2022年までに障害者施設等10対1入院基本料(急性 期)5床と療養病棟入院料1(慢性期)5床を地域包括ケ ア入院医療管理料1(回復期)へ10床転換予定。			

※圏域内に所在する医療機関の診療実績の合計に占める、当該医療機関の診療実績の割合。

第2回病院連絡会結果の概要（南河内二次医療圏）③

4 その他今後の医療提供体制のあり方に対する意見

- ・近畿大学病院の移転後の南河内の病床数の必要量の推計データが示されたが、今後も同様のデータを示していただき、経過を見ていく必要がある。
- ・診療機能の集約化については、脳卒中や心筋梗塞等は病院までの搬送時間が予後を左右するので、一概に集約化を検討するのではなく、診療機能別に検討する必要がある。

5 その他病院に対する意見・質問と回答

区分 4 民間等	保健所	市町村	医療機関名	許可病床数 (一般・療養)	病院からの説明等
4 民間等	藤井寺保健所	松原市	医療法人徳洲会 松原中央病院	60	同法人の松原徳洲会病院と一体として、今後について検討していく予定。
4 民間等	藤井寺保健所	松原市	医療法人徳洲会 松原徳洲会病院	189	急性期を中心に担っている。今後松原中央病院との一体化について検討していく予定。
4 民間等	藤井寺保健所	松原市	医療法人邦英会 寺下病院	72	現状維持。
4 民間等	藤井寺保健所	松原市	社会医療法人阪南医療福祉センター 阪南中央病院	199	現状維持。地域周産期医療センターとなっている。 周産期医療(ハイリスク分娩等)、小児医療、一般救急を担っている。
4 民間等	藤井寺保健所	羽曳野市	医療法人愛幸会 天仁病院	153	—
4 民間等	藤井寺保健所	藤井寺市	医療法人医仁会 藤本病院	177	現状維持。 今後耐震ための建て替えを検討していく。
4 民間等	藤井寺保健所	藤井寺市	医療法人ラポール会 田辺脳神経外科病院	50	現状維持。脳神経医療を担っている。 MRIを増設するため、新たに建物を増築中。
4 民間等	富田林保健所	富田林市	医療法人 宝生会 PL病院	370	2019年6月に消化器外科(特に肝胆膵)と12月に腎臓内科を標榜。合計26診療科に変更。病床機能の変更予定なし。
4 民間等	富田林保健所	富田林市	社会福祉法人 大阪府障害者福祉事業団 すくよか	55	2019年1月、精神病床55床を障害者施設等10対1入院基本料(慢性期)に変更。 大阪府下の知的障がい児者の長期入院を受入れている。
4 民間等	富田林保健所	富田林市	富田林田中病院	30	現状維持。
4 民間等	富田林保健所	富田林市	医療法人正清会 金剛病院	60	現状維持。建替えを検討中。
4 民間等	富田林保健所	富田林市	四天王寺和らぎ苑	110	現状維持。
4 民間等	富田林保健所	河内長野市	医療法人生登会 寺元記念病院	160	設置する科目すべてに常勤を配置し、地域密着型の救急医療を担っていく。 てらもと医療リハビリ病院との機能分化図っている。
4 民間等	富田林保健所	河内長野市	医療法人生登会 てらもと医療リハビリ病院	132	急性期より切れ目ない医療を提供し、在宅復帰を図っていく。また、高齢者のターミナル等、終末期医療も担っていく。
4 民間等	富田林保健所	河内長野市	医療法人博我会 滝谷病院	93	今年12月に、療養病棟入院料1(慢性期)93床のうち、60床を障害者施設等13対1入院基本料(慢性期)に転換済。 時期未定だが、今後、地域包括ケア病棟への一部変更も検討を進めたい。
4 民間等	富田林保健所	河内長野市	医療法人弘生会 老寿サナトリウム	281	現体制で地域に貢献していきたい。
4 民間等	富田林保健所	大阪狭山市	医療法人恒尚会 兵田病院	81	ペインクリニックや内科を中心とした在宅医療を拡張していきたい。
4 民間等	富田林保健所	大阪狭山市	医療法人恒昭会 青葉丘病院	324	精神病床が357床。内科疾患合併の精神患者への対応をしている。 地域包括ケア病棟への転換を検討したいが、現状では、サブアキュートを診るのが難しい。
4 民間等	富田林保健所	大阪狭山市	社会医療法人さくら会 さくら会病院	147	一次脳卒中センターとして地域と連携していく予定。